

---

# Monster Carp Fishing in Japan

– Meeting –

Archives “21th – 30th”

MCF Japan  
[www.mcfjapan.net](http://www.mcfjapan.net)

---

---

目 次

第 30 回	2009 年 11 月 7 日	荒川	1
第 29 回	2009 年 9 月 18 日～21 日	北浦	5
第 28 回	2009 年 5 月 15 日	荒川	12
第 27 回	2008 年 10 月 10 日～13 日	北浦	18
第 26 回	2008 年 10 月 4 日	荒川	24
第 25 回	2008 年 6 月 14 日	荒川	27
第 24 回	2008 年 1 月 5 日	隅田川	32
第 23 回	2007 年 10 月 20 日	荒川	36
第 22 回	2007 年 5 月 12 日	荒川	42
第 21 回	2007 年 1 月 20 日	隅田川	45

---

### 第30回 2009年11月7日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、ユウ君、mi〇

今週の前半は気温がぐんと下がり、11月下旬並みの天候となりました。その寒さも和らぎ最高気温20度を超える予報の週末、いつものメンバーが荒川に集合しましたのでレポートします。ちなみに、パーフェクトなドライネットでしたのでご承知おきください。



今回の注目はぼらひでさん。EUスタイルのタックルを揃え、このオフ会で初お披露目です。すでに単独釣行で釣果を上げていますので、できればこの場でやり取りを見たいと期待していました。カープロッドはFOX Warrior ELITE 12ft 3lb、リールはダイワ パワーサーフ QD5000です。特にリールは現在生産中止になったモデルですが、ど

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

うしてもこれが欲しくて入手するのに色々苦労したそうです。バイトアラームははじめブザー式を購入しましたが、やはりワイヤレスタイプのほうが多少離れたところにおいても安心なので購入。写真でもおわかりかと思いますが、ここぞと思う場所どこでもセッティングが可能



です。実際に機動性にすぐれ、これまでと少し攻め方を変えることができます。本日のベイトはポップアップとボトムのスノーマンです。フレイバーは各種試してみました。

ぼらひでさんの息子さんのユウ君は、ダンスが得意。明日お父さんとマイケル・ジャクソンの映画を見に行くということで、今からワクワクしています。マイケルのダンスを少し真似て見せてくれました。ユウ君は何度もダンスでTV出演していますので、半端じゃなくうまい。

こぶちゃんは、今日はダンゴ餌で攻めます。昨シーズンからボイリーを使って荒川に挑戦していましたが、思うような釣果が出ないことから、一度原点に帰ってダンゴを使用しています。ある程度実績がでたら、またボイリーを試してみるかもしれません。

こぶちゃんの娘さんのさきちゃんは、昨シーズンからキャスティングをトレーニングし、今シーズンは完全にマスターしました。少し重いダンゴをつけても、きれいにキャスティングができるようになりま

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

した。お父さんは「まだへたくそだよ・・・」と口では言っていますが、さきちゃんのキャスティングを見守る顔は嬉しそうです。



私は4.1mの石鯛竿2本をスリーフトに掛ける、いつもの荒川スタイルです。餌は初めダンゴに食わせコーンをつけて攻めましたが、途中からコーンに粉末餌を混ぜて水分を取り、それをPVAバッグに目一杯入れて投入しました。寄せも食わせもコーンです。

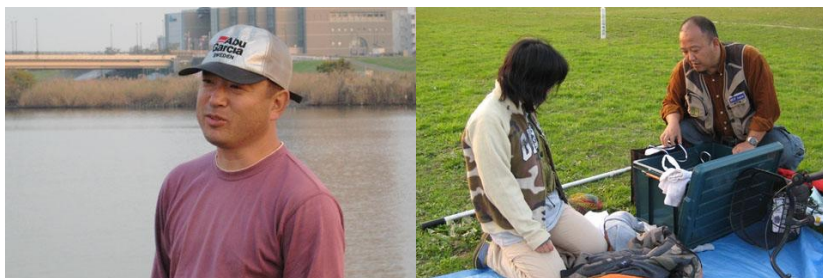
こうして、それぞれ思い思いにタックルや餌を使っていますが、肝心の当たりが誰にもありません。時々鯉が水面から姿を見せるのですが、食い気が見られない。ここ数日の大きな寒暖差が影響しているのでしょうか。「ひとりで来ると釣れるんだけどなあ・・・」とぼらひでさん。確かに竿数が多いと釣れないことも一般的に有りがちですが、このポイントはその程度のことは全く影響ありません。何しろ後ろの野球場から頻繁にボールが飛んできて水面に落ちてても、そんなことはお構いなしに食ってくるんですから（笑）。

釣れない分、よもやま話に花が咲きます。こぶちゃん、ぼらひでさん、私はほぼ同じ世代ですから日常抱えている話題もだいたい似たり

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

寄ったり。それぞれの環境は違っても、話が合う仲間を持つことができたのも、釣りがあればこそです。



ユウ君はお昼ころ帰宅。さきちゃんは午後からお昼寝。どんどん暖かくなり、潮の加減もいいころ合いになってもやはり当たりなし。「本当にタックルのお披露目だけになっちゃったなあ」と、ぼらひでさん。釣果はどうであれ、河原で1日のんびり過ごせたことが最大の収穫でした。そして4時を知らせる区の放送を聴きながら、河原を後にしました。

(レポート：mi○)

第 29 回 2009 年 9 月 18 日～21 日 北浦

参加：煮込みマッチョさん、平石さん、並継のこぶちゃん、さきちゃん、mi〇、コウ君



こんにちは、カープ犬の「はな」です。え？お前は誰だって？私の主人は煮込みマッチョ。ちょっといかつい感じがするけど、とても優しい主人です。私はメスの1歳5ヶ月。生まれて三か月くらいの

ときに常陸利根川の川原で主人に会いました。主人は私を連れて帰ってくれて、以来一緒に暮らすようになりました。主人の奥様もとても私をかわいがってくれるの。最初は大家さんにことわってアパートで暮らしていたけど、私のためにお家まで買ってくれて、今では広い庭で遊ぶことができるようになりました。もちろん、釣りには必ず行きますよ！

私にできることは、主人が釣れた時は横で声援をおくることと、主人がネットに入れたタニシを水で洗って引き揚げるとき、ネットの紐をくわえて一緒に引っ張ってあげることくらいかな？ あ、他には夜は車で主人に添寝もしてあげられるし、釣れないときは主人と遊んであげて、気分を和らげてあげます。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

私のことはこれくらいにして、主人の仲間が集まるMCF秋のオフ会についてお話します。でも湖畔を夢中で駆け回っているときはみんなのこと見てなかったから、その辺は許してね。

主人の煮込みマッチョさんと私がオフ会会場の北浦に到着すると、ほとんど同じくらいに並継のこぶちゃんがさきちゃんと一緒に到着しました。18日金曜日の夜です。この後でmi○さんが到着すると連絡が入りました。とりあえず竿を出しながら待つことにします。いつも主人と川に釣りに行っているのに、今回は初めて湖に来ました。川の雰囲気とはちょっと違うかな？でも釣りに来るのはとっても楽しみにしてたんです。だって最近主人は、前ほど泊まりがけで釣りに連れて行ってくれなくなっちゃったんですもん。ちょっと不満。





## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

セッティングが終わったころmi○さんがコウ君と一緒に到着。なんか段々人が増えて楽しいな！みんなに思いっきり尻尾振って愛嬌を振り撒いちゃおっと。

その晩、3時くらいに主人に鯉がかかったみたいだけど、70台とか言っていました。私は車に戻ってうとうと・・・朝になってmi○さんにも当たり。これは70cmをちょっときるくらいとか。でも私の大きさと比べたら、みんな大きい鯉を釣ってるのね。

少しして、平石さんが到着しました。黒の車の窓にゴールドの文字で「MONSTER WORLD」なんてステッカーを貼っていて、主人も普通の人たちとちょっと違うかなあって思っていたけど、ここにいる人たちも主人と同じくらいちょっと違う人たちみたい。でもみんな私の頭を撫でてくれるから、悪い人じゃないみたいね。

午前11時過ぎ、さっき着いた平石さんが重そうな鯉と引き合ってる！みんなで駆け寄ってタモを持ったり、写真を撮ったり。じ〜と期待して待っていると、やっとブカ〜と浮いてきてネットイン。なんかとっても大きいよ！それに、尻尾がゴールドと赤い色が混じって、とってもきれい。長さを測ったら95cmもあつたらしいよ。すごーい！

午後は誰も釣れなかったから、みんなお昼寝してたようね。私は遊びたかったんだけど、我慢して車の陰でごろごろしておとなしくしてたのよ。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



夕方近くなってから、並継のこぶちゃんが夕食支度をはじめたの。炭火をおこすのはこぶちゃんの娘さんのさきちゃんとmi○さんの息子さんのコウ君の役目。二人交替でうちわであおぐと、火が勢いよく燃えて準備OK。



こぶちゃんが手際よく料理をはじめたので、何ができるかなーって見てたら、大きなダッチオーブンに目一杯の豚汁でした！風が強くて寒い感じだったけど、みんなあったかい豚汁を楽しそうにおし

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

やべりしながら食べてたなー。私はダイエットのためにドッグフード以外は食べないようにしてるの。

みんなおなかが一杯になたところでおやすみなさーい。台風のせいかな？風がつよいね。でも主人にびったいくつついて寝ていれば安心。



朝になって、またまた平石さんが重そうな魚を掛けていたから、みんな駆け寄っていきました。7時半頃だったかな？とにかく重そうだったから、どんな魚かと思ったら青魚！主人はいつも利根川で

これを釣っていたから、私もよく知っているのよ。ここでも釣れちゃうのね、この魚。「もっと大きくなれー」って放してあげたら、元気に戻って行ったよ。

9時半くらいに、今度は主人に当たり！私はいつも主人がやりとりしていると興奮しちゃって、ずっと「ワンワン」吠えてしまうの。これでも応援しているんだよ！主人は気がついていいるのかな？魚は近くまで寄ってきてもなかなか姿が見えなかったけど、一瞬見えた顔は青魚。でもその瞬間、「バsshャーン・・・！」尻尾で水を叩いた瞬間、糸がそらに舞い上がっちゃった。残念・・・。よく見たら、ハリがポッキリ折れている！いつも主人が使っているフカセ20号なのに、なんで？なかなかいいサイズの青魚だったなあ。悔しいなあ。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



でもその後またすぐに当たりが主人にあつて、こぶちゃんにタモで掬ってもらい、無事に取り込むことができました。これでちょっとはさっきのショックが紛れたかな？鯉を持った記念写真には私も

入っちゃった。（鯉の尻尾で顔が隠れちゃったわね・・・）

そしたら、すぐにmi〇さんに当たり！釣れ出すと急に忙しくなるのよね、この釣りは。mi〇さんのは、さっきの主人の鯉より少し小さめだから70cmくらいかな。かわいい鯉だから、すぐにリリース。

今日も午後からは当たりがなくなっちゃった。平石さんは5時前にさようなら。明日からお仕事なんだって。コウ君と主人が浮釣りを始めたけど、夕暮れまでやっても釣れなくておしまい。浮きは消し込むんだけど、どうして釣れないんだろう???

今夜は昨日と違って風が穏やか。夜中の3時頃に主人に当たりがあったけど、日中のサイズとだいたい同じくらい。



いよいよ最終日の朝。それまで我慢に我慢を重ねながら、打ち込みのポイントを色々工夫していたこぶちゃんに待望の当たり！今度は主人が構えるタモにこぶちゃんの鯉が納まって、取り込み完了！

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

体高のある伝統的な北浦鯉の体型ときれいな色。満面の笑みで記念撮影でした。おめでとう！

こうして、お昼過ぎに解散となりました。さきちゃん、コウ君、優しくしてくれてありがとう。平石さん、大物おめでとう！こぶちゃん、立派な鯉だったね。mi〇さん、また主人を誘ってね。そしてご主人さま、これからもっと釣りに連れてって！

(レポート：はな)

第 28 回 2009 年 5 月 15 日 荒川

参加：地鶏オヤジさん、並継のこぶちゃん、ぼらひでさん、シルヴァンさん（ゲスト）、mi○

4 月の下旬に一度企画した春の荒川オフ会が悪天候のために流れ、5 月に入ってから何度もスケジュール調整をしながらやっと開催することができました。今回のゲストは、当サイトの「Friends」でお馴染みのシルヴァンさんです。mi○がレポートします。

朝 5 時過ぎ、車で宇都宮を出発するときの外気温は 8℃。まるで 4 月の気温のようです。都内は宇都宮よりも少し気温が高いとはいえ、この急激な気候の変化は少なからず鯉の活性に影響がでることが心配されました。潮回りは可もなく、不可もなくといったところです。

6 時半にぼらひでさんのお宅に到着し、一緒に荒川に向かいました。しかし、ぼらひでさんは仕事の都合で釣りができませんので、通勤途中に位置するオフ会会場に立ち寄って行くことになりました。歩いて行く途中、シルヴァンさんから「近くの駅に着いた」との連絡が入りました。このサイトをよくご覧になって下さっている方にはすでにお馴染みかと思いますが、国内にボイリーが普及する以前に私にボイリーの作り方を教えて下さり、ご自身も多摩川で釣果を上げて国内のボイリーブームに影響を与えたカープアングラーです。オフ会会場に到着すると、いつも通り早起きのこぶちゃんが迎えてくれました。

少しすると、長いロッドケースを肩にかけて土手を越えてくる姿が見えます。手を上げて合図すると、向こうも手を上げて合図。シルヴ

アンさんです。荷物を降ろした後、初めてのポイントなので上流から下流まで丹念に見て歩きました。水の流れ方から瞬時に水底の状態を大雑把に把握し、こぶちゃんの詳しい情報をインプットした結果、下



流側の地形が多少変化している場所に竿を出すことに決めました。私はこぶちゃんとシルヴァンさんの間に場所を決めました。ぼらひでさんは出勤時間になったので、これにてお別れです。

竿をセッティングし終わると、こぶちゃんと私はシルヴァンさんのタックルを見学し、シルヴァンさんは私たちのタックルを珍しそうに見学しました。

(シルヴァン) 「これは何用の竿？」

(mi○) 「Striped Beakfish。石鯛って言うんだけど知ってる？」

(シ) 「ああ、こんな形した縞模様の魚ね。引きは強いのか？大きさとれくらい？」

(m) 「大きくても60cmくらい。釣ったことないけど、物凄い強い引きをするらしい。」

(シ) 「日本にカープロッドはないの？」

(m) 「売ってるよ。鯉釣りでは石鯛竿と鯉竿は半々くらいかなあ。でも鯉竿は短いがないから、石鯛竿の中で一番短い4.1mを使っているんだ(ダイコー フルフィールド名礁石鯛410MH)。フラ

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

ンスではベイトキャスティングリールを使っている人はいないの？日本ではとても人気があるんだけど。」

(シ) 「いないね。このリールはスウェーデン製みたいだね。スウェーデンはいいものを作る。僕のお爺ちゃんが昔カージナル（ABUのスピニングリールの名前）を使っていたからスウェーデンの製品を知っている。リールの下側にドラグ調整がついていたね。」

(m) 「そうそう、ドラグ調整が下に付いたのはABUが最初なんだよね。」

ポンポンと会話が弾み、こぶちゃんも自作の竿(隅田川スペシャル)の写真を見せながらウルトラショートロッドの紹介をし、シルヴァンさんは熱心に聞いていました。



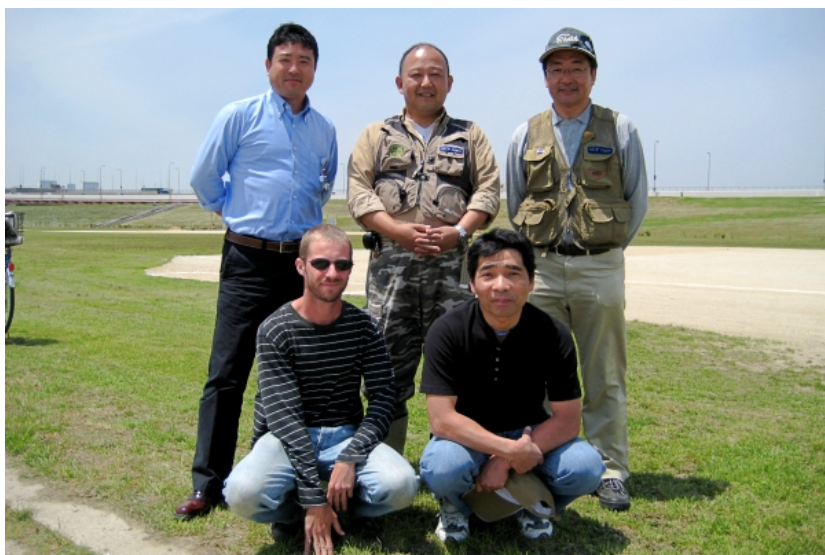
あつという間にお昼になって、お昼休みのぼらひでさんが仕事場を抜け出して陣中見舞いに来てくれました。間もなく地鶏オヤジさんが徒歩でやって来ました。都内のセカンドハウスから自転車で来

るか迷ったようですが、結構距離があるために近くの駅まで電車できたそうです。これで今日のメンバーが揃いました。会話が弾む中、半ば強引に記念撮影(笑)。撮影が終わるとまたまた歓談。「ひでさん、お昼食べられなくなっちゃうよ。」の声に、ぼらひでさんはしぶしぶ退散しました。



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



午後はシルヴァンさんのリグをメインに仕掛け研究会が始まりました。ヘアリグのバリエーションとそれぞれの機能、錘の形の選定理由、ポップアップの有効な使い方などについて、シルヴァンさんのリグ理論と実験結果に基づくお話を、ここでは紹介しきれないほど聞くこと



ができました。異文化に直接触れるのはとても新鮮で、充実したひと時でした。これから先はMCFの中で、ますますEUスタイルと日本式の鯉釣りの融合が進む可能性を感じました。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



歓談の合間に時々思い出したように「釣れないねえ・・・」と食い渋りを嘆きましたが、上げ潮になった夕刻に、やっとシルヴァンさんのバイトアラームが鳴り響きました。シルヴァンさんはロッドに向かって猛ダッシュ！ アラームの断続音は、ラインが出続けていることを示しています。岸から数メートルのところに餌を送り込んだ竿にヒットしていました。数十センチ間隔に並べられた他の

2本の竿のラインにからみそうになっているのを慎重にかわすと、いよいよ本格的にファイト開始！ 決して無理をせず徐々に岸に寄せると、こぶちゃんがランディングネットを構え、慎重にネットイン。半ば諦めムードがあった中でこの一本は、皆の気持ちの中で何か救われるものを感じました。



その後風が強まるとともに体感温度がどんどん下がり、5時半頃に地鶏オヤジさんが撤収し一足先に帰宅されました。さらに残りの参加者も6時頃撤収。シルヴァンさんとは、いつかまた一緒に竿を出すことを約束し、解散となりました。

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

あいにくの釣果ではありましたが、オフ会、つまりオフライン・ミーティング（会議）の本来の目的である参加者同士のミーティングが十分にできた最高の一日でした。帰り際の皆の言葉が今日一日を象徴しているようです。

（地鶏オヤジさん）「こういう新しいものを見るのはいいねえ！」

（シルヴァンさん）「今日は楽しかったです」

（こぶちゃん）「よーし、今度は新しいヘアリグを作るぞ〜」

私も充足感に浸りながら帰路につきました。

以上で第28回オフ会のレポートを終わります。最後に、参加できない日にオフ会を開催してしまっておめんね、さきちゃん。

ぼらひでさん、色々お気遣いありがとうございました。

（レポート：mi○）

第 27 回 2008 年 10 月 10 日～13 日 北浦

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、平石さん、地鶏オヤジさん、mi○、コウ、ぼらひでさん、ユウ君

MCFメンバーが揃って泊まりがけで釣行できるチャンスがなかなか見つからないため、第18回オフ会（2006年4月霞ヶ浦・利根川）以来、水郷での開催を見合わせていました。その間、個人的に水郷を攻めていた人、ほとんど釣りにいけなかった人、荒川を中心に攻めていた人などそれぞれだったようですが、一部のメンバーから久々に開催しようとの声があり、今回の開催に至りました。体育の日があって連休となった週末、北浦でのオフ会のようすをmi○がレポートします。

10月10日（金）夜10時過ぎ、私と息子のコウが一番乗りで開催地に到着しました。コウは水郷釣行が初めてで、もちろん車中泊も初めてです。現地に着いて間もなく、こぶちゃん親子も到着しました。こぶちゃん親子も水郷が初めてで、この日に合わせて随分前から仕事のスケジュール調整や釣行準備を進めてきました。



開催場所で最もわかりやすいポイントにオフ会本部（つまりテーブルとバーベキューコンロを設置する場所）を定め、二組並んで竿をセッティングしました。すでに夜も更けていましたので、この日

はそのまま就寝です。

翌日の11日(土)の昼ごろ、平石さん到着。女の子ふたりのパパとなった平石さんは、昨シーズンはほとんど釣りに行けず、今シーズンもまだ一回しか釣りをしていないとのことで、今回は何が何でも参加したいと準備して来てくれました。平石さんは入念にポイントの底を探り、彼独特の感性で本部から離れた場所を選び、セッティングしました。オフ会本部からセンサーの無線が届く範囲ならどこでもOKです。当りがあつたら車で駆けつけます。

こぶちゃん、平石さんと歓談していると、私のセンサーが鳴りラインが引き出されました。軽く合わせると、あまり手ごたえがありませんが、少しやりとりをした直後に掛かりに入られてしまいました。しばらくの間ラインのテンションを弱くし、鯉が掛かりから抜け出すのを待っているとうまい具合に沖に向かって泳ぎだし、掛かりを抜けてくれました。一気に寄せて平石さんが構えたタモにネットイン。水から上げてみると、サイズは50cmくらいで可愛い鯉なのですが、口に見慣れない仕掛けが見えます。なんと、コイン型錘が付いたタニシ餌二本鉤仕掛けがささっていました。二本の鉤にはそれぞれタニシが付いています。この小さい体で仕掛けをぶら下げたまま、私の餌を食ってきたことに驚くと共に、以前掛った仕掛けをはずしてあげることができて、何かいいことでもした時のような気分になってしまいました(笑)。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



午後4時頃、ぼらひさんとユウ君が差し入れを持って陣中見舞いに来てくれました。水郷に行かなくなって久しいぼらひさんですが、かつてこの場所で竿を出したことがあり、当時の思い出話で

盛り上がり、数年ぶりに会った平石さんとも歓談して過ごしました。地鶏オヤジさんはまだ到着していませんでしたが、ぼらひさんが帰る時に集合写真を撮りました。わざわざ陣中見舞いに来て下さって、本当に嬉しく思いました。



日が暮れてこぶちゃんが準備してくれた食材でバーベキューを開始した頃、ちょうど地鶏オヤジさんが到着しました。仕事の都合で今シーズンは全く釣りをする時間が作れず今回が初釣行になる地鶏オヤジさんは、まずは軽くお腹を満たし、一息ついた後セッティングに取り掛かりました。

夜8時頃、平石さんに待望の当たり！サイズは70台半ばくらいでしたが、先ずは幸先よく一本目を上げてボウズを逃れ、次にサイズアップを祈ります。しかし、この夜は当たりが続かず、それぞれの車に早めに入りました。昨夜と一転して冷え込みが厳しい夜です。

明けて12日（日）、朝8時頃に地鶏オヤジさんが竿を離れてコンピニに行っている時、ちょうど当たりが来てしまいました。私がセンサーのスイッチを切り、竿を竿掛けに置いたままスプールに指を当ててラインの出をコントロールし、杭の方に入る気配がある時は竿を置いたままそっとラインを巻き取って、地鶏オヤジさんが帰ってくるのを待ちました。やがて、急いで戻ってきた地鶏さんに竿を任せ、やりとりを見守ります。杭を巻いて二本隣の竿のラインと絡み、厄介なことになりそうになったため、絡んだ竿を持ってフォローしました。こぶちゃんのアシストでネットインして、小ぶりながら今シーズンの初鯉をゲットしました。

同じ頃平石さんも当たりがあり、こちらも小ぶりな鯉をゲットしました。当たりが続いているうちは期待が持てると信じて入念にコマセを撒きます。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

午前11時前、こぶちゃんとさきちゃんは一足先に撤収となりました。水郷初釣行で初鯉が期待されましたが、残念ながらふたりの竿に鯉は振り向いてくれませんでした。それでも普段経験できないアウトドア生活をさきちゃんも十分楽しんだようです、こぶちゃんと共に再チャレンジを誓いながら帰路につきました。



午前11時半頃、平石さんの竿を強烈に絞め込む鯉がヒットしました。近くに点在する杭に逃げ込まれないように必死でやりとりする平石さん。ひとりでネットインまでこなして引き揚げた鯉は、タモ枠サイズを上回っています。早速計測台を持ち出して計った結果、90.5cmの嬉しいサイズ！平石さんは鯉を持ち上げ、会心の笑みで記念撮影しました。さらに午後にも平石さんに当たりがありましたが、こちらはまた小ぶりの鯉で、これを最後に夕方5時に撤収となりました。一泊二日の釣行ながら、しっかりと結果を出すあたりはさすがです。



ポイントを読む天才的な感覚は、釣行回数が少なくなった今も健在でした。

この夜は、地鶏オヤジさんと私とコウの三人で過ごすことになりました。日が暮れるとかな



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

り寒く感じられますが、月明かりの中で炭火を囲んで語りながら、地鶏オヤジさん三点セットをごちそうになりました。三点セットとは、宮崎産地鶏・刺身・かいわれハムサラダです。ご一緒する度にいただいているメニューですが、いつ食べても美味しさは変わりません。

13日(月)夜中の1時、地鶏オヤジさんに60cmクラスの鯉が来ましたが、その後が続かずに朝を迎えました。湖畔のテーブルに座り、熱いコーヒーを入れ、焼きたてトーストで朝食をとりました。お互いに次回攻めるポイントなどを話しつつ、朝の時間を過ごします。



お昼前になって二組とも撤収開始。コウもバケツを洗ったり、ピトンを片づけたりと一人前に撤収をお手伝いできるようになりました。日中の気温が上昇する中、汗をかいた洋服を着替え、帰りのハ

ンドルを握りました。

来年も水郷オフ会の開催ができるよう祈りつつ、オフ会レポートを終了します。

(レポート：mi○)

第 26 回 2008 年 10 月 4 日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、mi○

さわやかな秋晴れの中、恒例の秋のオフ会を荒川で開催しました。



ぼらひでさんとmi○が荒川に到着すると、すでに幸先良くさきちゃんがレンギョを釣りあげていました。はじめてのレンギョですが、魚体があまりにヌルヌルしているため持ち上げることができそうも

なく、タモに入れたままの記念撮影となりました。タモ枠との比較から推定すると、90台のサイズ。撮影後すぐにリリースしました。小学6年のさきちゃんは、大物を引き寄せる天性の素質が備わっているようです。

ぼらひでさんとmi○も竿のセッティングが終了し、歓談しながら当たりを待ちます。潮回りはあまり良くないのですが、朝一番のこの釣果は魚の活性の高さを意味するのでしょうか？



8時半過ぎ、こぶちゃんの穂先が食い込んでドラッグが鳴り響きました。何種類かある竿の中から、本日使用しているのはダイコーフルフィールド伝承で、もちろん継竿です。元気に走る鯉をゆっくり

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

コントロールしながら、さきちゃんの構えるタモに導きました。水につけたタモの中でハリをはずし、「撮影はிரないから・・・」と言うこぶちゃんの見意見を振り切って、強引に記念撮影しました（笑）。こぶちゃんは夏場に何度か竿を出したそうですが、残念ながら釣果に恵まれず、これが久々の釣果となったそうです。長いスランプから抜け出せそうな予感がする一匹でした。



一方ぼらひでさんは、午前中に当りがなかったため、3本出した竿の内の1本をコーン餌からボイリーに切り替えて午後に挑みました。しかし、本日は鯉の食い気が全く見られず、センサーがなかなか鳴ってくれません。

か鳴ってくれません。

mi○は竿3本の内、コーン2本、ボイリー1本で臨みました。午前中に一度だけコーンに当りがありましたが、残念ながら竿を持った瞬間にばれてしまいました。以後、全く当りに恵まれません。時間が十分あったので、こぶちゃん、ぼらひでさんと釣り談議を楽しみました。

実は近々MCFの水郷オフ会が数年ぶりに開催されます。こぶちゃん親子はそれに参加するために、今から少しずつ準備を進めているそうです。かつてはヘラ釣りで水郷方面に行ったことがあるこぶちゃんですが、泊まりがけの鯉釣りは初めてなので、さきちゃんとともに、とても楽しみにしているそうです。そういえば、私も初めて水郷に行っ

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

た時は、何週間も前からワクワクしていたことを懐かしく思います。  
当時はぼらひでさんにあれこれと教わったものでした。

気がつくと午後4時半。当りも遠いので早めに撤収を開始しました。  
今日は一日天気が良かったため、みんなほんのり日焼け顔。釣果には  
恵まれませんでした、のんびり歓談できて楽しかったですよ。



(レポート : mi○)

第 25 回 2008 年 6 月 14 日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、mi○、コウ

例年は5月に開催している春の荒川オフ会ですが、参加者の都合により今年は6月開催となりました。梅雨の季節だけに当初は天気心配されましたが、開催日が近付くにつれて予報は晴れマークが出るようになり、いよいよ気分も盛り上がってきました。オフ会の日を、mi○がレポートします。

ぼらひでさんとmi○、そしてmi○の次男コウが荒川に到着したころ、こぶちゃん親子は竿をセットし終えてアタリ待ちの状態でした。聞くと明け方にはここに向かったそうで、さきちゃんも眠いのを吹き飛ばしてお父さんに付いてきたそうです。

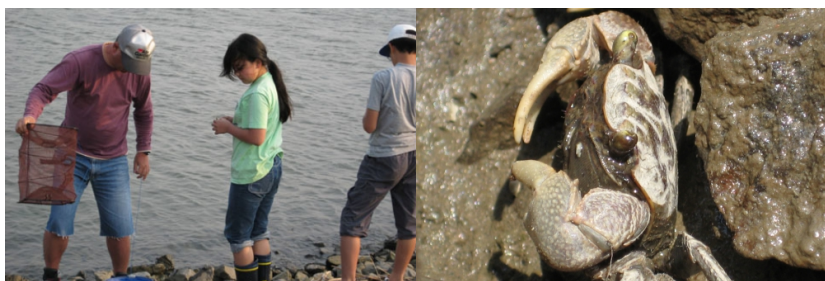
到着したぼらひでさんは、いつものように手際よく竿を2本セットします。一方mi○はコウに竿を一本あずけてキャスティングの練習をさせました。以前地元の川でアブのリールを使ってキャスティングをしましたが、今回の荒川は地元の川よりも遠くにキャスティングする必要があります。はじめは軽いバックラッシュをしたり、キャストしたおもりがすぐ手前に落ちたりと、なかなか安定しないで四苦八苦しました。その間にmi○は自分の竿を2本セット完了。コウもいよいよダンゴを付けて本番のキャスティング。ひゅ～ん、ポチャ！練習の時と違って、最高のキャスティングができ、本人も大喜びでした。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



天気はカンカン照りで朝からジリジリと肌が焼かれる感じがします。そんな陽ざしにも負けずに、ぼらひでさんは持参した魚とり網に餌のスルメを入れて川に沈めました。荒川は小魚も豊富なうえ、ウナギもたくさんいるそうです。またこの時期は手長エビがだいぶ大きくなりつつありますので、網になが入ってくるかとても楽しみです。



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

一方、荒川に2年ぶりに来たコウは、川原の石を積み上げて遊んだりしながら、ぼらひでさんから「この辺はたくさんいるよ」と教わったカニを捜しています。石をどかしながら探していると、「カメラ、カメラ!」といいながらmi〇に走ってきました。一緒に行ってみると、カニが数匹石の下に隠れています。石をどかして写真を撮ろうとすると、カニはさらに奥の石の下に隠れます。何度かこれを繰り返して、写真を何枚か撮ることができました。



さきちゃんは水辺に石を積み上げて小さな水たまりをつくり、その中に長靴をはいたまま足を浸けています。「長靴に水入らない?」と心配すると、「こうしてると涼しいんです。」と、さきちゃんの

答え。子どもたちも大人も思い思いに川遊びしながら鯉のアタリを待ちます。せっかく荒川に来たんですから、こんな遊び方もなかなか楽しいものです。

午前中、まったくアタリがないため今日は厳しい状況だとみると、ぼらひでさんは自宅に置いてあったボイリーを取りに帰りました。竿2本とも寄せダンゴに食わせコーンをそれまで使っていましたが、一本はボイリー入り寄せダンゴに食わせボイリー。もう一本の竿は、魚とり網に入っていた手長エビをハリにつけて投入しました。



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

お昼になろうとしている頃、こぶちゃんに待望のアタリがありました。ダイワのリールの軽快なクリック音。「大した手応えじゃないなあ」といいながらも慎重に寄せ、さきちゃんの構えたタモに入れようと鯉を引き寄せた瞬間、「スポーン!」。痛恨のバラシです。残念そうに竿を置いたこぶちゃんは、場を明るくするために、「やっぱりさっきバラシたのは90以上あったなあ・・・(笑)」バラシた時くらい目一杯大きく言いましょう。

12時半、今度はコウの竿のクリックが響き、穂先がお辞儀しました。柔らかい石鯛竿なので、子どもでも伸されにくく竿を立ててやり取りができます。時々鯉に強く引かれると「手が痛ーい!」横でタモを持ってやりとりを見ている



mi○は、「その引きが面白いんだから、ガンバレ!」十分に時間をかけて少しずつ寄せ、mi○がタモ係りでネットイン。嬉しい嬉しいオフ会初釣果となりました。

その後しばらくしてぼらひでさんのセンサーがON! 急いで竿に駆け寄ったところ、どうやらボイリーの竿にアタリがあったようですが、穂先が動きません。すこし待ってから竿を手にしましたがやはり掛かっていませんでした。空アタリです。でもボイリーでアタリがあったことで、これでいけるかもしれないという期待が高まってきました。



## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

こぶちゃんも竿2本の内1本をボイリーダンゴと食わせボイリーに変更しました。



4時を回った頃、こぶちゃんに再びアタリ。当たったのはコーン餌の方です。今度こそとゆっくり目に寄せて無事ネットイン。こぶちゃんにとっては久々の荒川鯉なのでニッコリして撮影となりました。

西に陽が傾いた頃、コウが濡れた靴下を脱いだら靴下より上が陽に焼けて真っ黒、下が真っ白とくっきり足首に線が入り、皆で大笑い。靴下を脱いでもまだ履いているみたいです。こんななごやかな雰囲気の中、荒川土手に帰宅を促す区の放送チャイムが鳴り響き、撒収となりました。皆様ご苦労様でした。

(レポート：mi○)

第 24 回 2008 年 1 月 5 日 隅田川

参加：左たまごさん、並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、ユウ君、mi○

正月気分も抜けきらない 1 月 5 日、MCFメンバーが隅田川に集合しました。寒さを吹き飛ばすようなオフ会の一日を、mi○がレポートします。

朝 7 時過ぎ、隅田川のほとりにmi○、左たまごさん、こぶちゃん親子が順次到着しました。天候は曇り。予報では午後から太陽が顔を出すとのことです。オフ会の常連ぼらひでさん親子は、用事があって午後から参加。今回はこぶちゃんがエサのゴカイを準備してくれました。

左たまごさんは、昨年の春以来の釣行だそうです。小学生の野球の指導をしている関係上、なかなか釣りのチャンスがないとのことで、今日は貴重な一日です。こぶちゃんは、このポイントに入釣するのは初めてですが、元々生まれも育ちも地元。何のためらいもなく場所を選んで竿を出しました。

こぶちゃんのタックルで目を引くのは、自作のショートロッドです。かつて、江戸和竿師から手ほどきを受けたことがあるそうですが、今日は和竿ではなくグラスの 6 フィートくらいのロッドに、高価なガイドを 9 個取り付けた立派なベイトリール仕様のロッドです。いずれチャンスがあれば、詳しく紹介したいと思います。隅田川のようにテラスでの釣りには、ショートロッドが向いています。今日はこのロッドをさきちゃんが使い、こぶちゃんは、市販の 4 m 石鯛竿を使います。

セッティングしてから一時間ほど経った8時半、mi○のクリックが鳴り響きました。待望の初ヒットは70cmの鯉でした。毎年のことながら、最初の一本はとても嬉しいものです。さらに10時前に74cmを追釣。最高の新年を迎えることができました。

それから10分ほどして、さきちゃんにヒット！お父さん自作のロッドが絞り込まれます。ゆっくり寄せて上手に浮かせました。鯉の顔を見ると中々の良型に、ワクワクしながらお父さん（こぶちゃん）のタモ入れを待ちます。と、次の瞬間・・・スッポーン！ハリがすっぽ抜けてしまいました。がっかりしながらも、笑顔を絶やさない明るいさきちゃんでした。

しばらくして、上流に入釣したFさんが訪問して下さいました。Fさんは、昨年冬の隅田川オフ会にゲスト参加しています。短時間ではありましたが鯉釣り談義で盛り上がり、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。とても感謝しております。



10時40分、今度はこぶちゃんに待望のヒットです。沖に向かって走られましたが、ゆっくり寄せてくると、体高のある良型です。計測の結果79cmでしたが、サイズの割にはずっしりとした重量級の鯉でした。初鯉としては満足の本です。

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

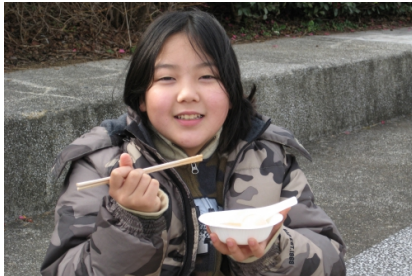
---

さらに10分後、左たまごさんの竿が絞り込まれました。慎重に寄せて取り込み、初鯉の記念撮影をしている最中に、もう一本の竿にヒ



ット！急いで鯉をリリースして、すかさずもう一本の竿を手に取りました。ゴカイ餌釣りでは、連続ヒットは珍しいことではありません。二本目も記念撮影して、ホッと一息です。

お昼は持ち寄ったシングルガスバーナーを使って、おでん、うどん、鍋ものなどを温め、皆でつつきながら歓談しました。寒鯉釣りの楽し



みの半分は、温かいものを外で食べることにあります。自宅で食べるとどうってことない物でも、外で食べると数倍おいしく感じられます。今日は幸い風もなく、食べ終わった後は体が温まり、上着を

脱ぐほどになりました。

午後1時近くなって、ぼらひでさんとユウ君がバスに乗ってやってきました。都会の鯉つりは、公共交通機関を利用できるので便利です。ただ、竿掛けをむき出しで持って乗ると怪しまれるので、とんがった先を段ボールで包んで隠してきたそうです（笑）。セットを終えて、ぼらひでさん親子も遅いお昼を食べながらアタリを待ちます。

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

予報通り、午後は陽がさして気持ちがいい天気となりましたが、アタリの方は全くありません。釣りの話や近況の話などしている間に時間が過ぎ、時計を見ると3時を回っていました。アタリの気配がないことから、3時半に撤収開始。一人1本か2本しか竿を出していないので、あっという間に片付いてしまいます。それぞれが笑顔の中、解散となりました。



(レポート : mi○)

第 23 回 2007 年 10 月 20 日 荒川

参加：並継のこぶちゃん、さきちゃん、ぼらひでさん、荒川粋匠さん  
(ゲスト)、mi○

今回のオフ会は、こぶちゃんの娘さんで史上最年少レポーターさきちゃん（小学 5 年生）がレポートします。11 歳の少女の感性で描いた鯉釣りの魅力を存分にお楽しみください。

今日は、楽しみにしていた荒川のオフ会です。春のオフ会では、私もお父さんも 1 匹も釣れなかったので、「今回は絶対に釣るぞ！」気合いいっぱい、朝 6 時に家を出ました。昨日の夜に降っていた雨もすっかり上がり、今日はとても良い天気になりそうです。外の空気はまだひんやりとしていて、「朝は寒いよ」とお父さんが言っていたので、私は冬用のコートを着て家を出ました。

荒川までの道を自転車をこいでいるとだんだん体がポカポカとしてきて、荒川に着いた時には少し汗をかくくらいでした。荒川には、すでにぼらひでさんが到着していて、準備も一通り終わっていました。前日雨がたくさん降っていたので、地面がドロドロになっていました。私はコートを脱いで、少し汗がひいてから、準備を始めました。私は、ぼらひでさんの右側に 1 本、お父さんはその右側に 2 本竿を出しました。竿のセットをしていると、mi○さんが到着しました。

竿のセットが終わり、私は、コンビニで買ってきたパンやおにぎりを食べていたら、突然、ぼらひでさんの竿に大きなあたりがありました。しかし、ぼらひでさんが竿を持った瞬間にバレてしまいました。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

道糸がギザギザになって切れてしまったとのこと。お父さんは、「掛かりに巻かれたんだよ。」って言ってました。ぼらひでさんは、とても残念そうな顔をしていました。ぼらひでさんの糸を切ったのは、とても大きな鯉だったと思いました。

しばらくして、初参加の荒川粋匠さんが到着しました。粋匠さんは、お父さんの右側に竿を2本出しました。粋匠さんのセットが終わってすぐくらいに、mi○さんの竿にあたりがありました。mi○さんの竿の前で、朝からもじってたので、ぼらひでさんとお父さんは、「絶対mi○さんの竿にくるよ！」って話してたのが当たりました。そして、ぼらひでさんが構えたタモに入ったのは、とてもかわいい鯉でした。みんなから「かわいい、かわいい」と言われてました。58cmのきれいな鯉でした。



次にお父さんの竿にあたりがありました。ぼらひでさんにタモ入れしてもらった鯉は、68cmでした。ぼらひでさん、mi○さん、お父さんと順番にあたりが来ているのに、なぜか私の竿にはあたりがあり

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

ません。「早く来ないかな～」とグランドのベンチから竿先をながめていました。

エサの交換をしていたぼらひでさんが、「あたってる！」と私の竿を指さしました。私は、ベンチからダッシュで竿の所へ向かいましたが、センサーが鳴るほどではなく、弱々しく竿先が動いている程度でした。「これ風じゃあないの？」と思うほどで、私は、少しガッカリしました。合わせてみると、魚は付いているけれど、どう考えても鯉よりはるかに軽い引きで、私は「もしかして・・・」と思いながらリールを巻きました。そして上がって来たのは、予想通りのマルタウグイでした。以前お父さんと釣りをしている時に、お父さんには鯉が来るのに、私にはマルタばかりという日があって、私はマルタをどうしても好きにはなれません。今日の初めてのあたりがマルタだったので、ガッカリしました。



mi○さんが写真をとってくれたので、笑顔をつくろうとしましたが、苦笑いみたくなっていました。写真、変な顔してないか不安です・・・

魚をリリースして、竿をセットした後は、「マルタじゃ満足いかないなあ！」と心の中で思っていました。「鯉を釣りたい！」とただただ思い、その後は、ずっと自分の竿のそばに居て、あたりを待っていました。



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



次にあたりが来たのはぼらひでさんでした。竿を手にとって合わせた後、すばやくリールを巻き取りました。お父さんが構えたタモに入ったのは70cmの鯉でした。

しばらくして、ついに私の竿に大きなあたりが来ました。竿からは糸がどんどん出て行きます。ベンチで寝ているお父さんの所ではセンサーがピピピピ・・・鳴っています。だけど、お父さんは爆睡中で、まったく気付いてくれません。さわいでいた私に気付いてくれたmiOさんとぼらひでさんがお父さんを起こしてくれました。お父さんは、タモ網を持って竿の所まできましたがフラフラとしています。まだ寝ているのかも・・・と思いました。

竿掛けから竿をはずし、合わせたら、しっかりとした手ごたえで、「これは間違いなく鯉だ！」私はそう思いました。鯉はぐいぐいと糸を引っ張って行きます。私も負けずに糸が切れない程度に竿を持ち上



げます。やはり鯉の引きは重いです。私がリールを巻くと、鯉もぐいっと引っ張ります。引いたり、引かれたりをくり返し、やっとお父さんの構えるタモに入りました。思わず「釣ったぞー！！」って叫

びそうになりました。70cmくらいの鯉でした。

その後、mi○さんが写真を撮ってくれましたが、マルタの時とは違い、すごく満足した笑顔だったと思います。mi○さんとぼらひでさんは、「さきちゃんの鯉が今日1番大きいよ！」って言うてくれました。最高にうれしかったです！

ぼらひでさんが夕方用事があって、3時過ぎには帰らないとということ、潮も止まり、あたりも続かないので、mi○さんもぼらひでさんと一緒に引き上げることになり、お父さんから、「撤収！」って言われましたが、「まだ早いよ！まだねばる！」と言い、4時迄ねばることにしました。mi○さんたちが帰ってから、お父さんの竿に変なあたりがあり、あわせてみたら、いっしゅん引き込んだけど、その後すぐにバレてしまいました。お父さんは、「今のはレンギョかも・・・」って言うてました。

その後4時迄、私の竿には、あたりはありませんでした。初参加の荒川粋匠さんにも、4時迄ねばりましたが、1度もあたりは来ませんでした。お父さんは帰りがけ、粋匠さんに「ここの鯉は、初めての人には意地悪なんだよ！」なんて言うてました。粋匠さんは次に荒川に来る日をお父さんと話しているようでした。

帰り道、「鯉が釣れて、満足満足！」と思いながら、晴々とした気持ちで帰る事が出来ました。今回のオフ会は、大満足で、とても楽しかったです。次回は、もっと大きな鯉を釣りたいと思っています！mi○さん、ぼらひでさん、粋匠さんありがとうございました！

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



(レポート：さき)

第 22 回 2007 年 5 月 12 日 荒川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、並継のこぶちゃん、さきちゃん、左たまごさん、mi○

今年の春の荒川オフ会には、新メンバーの「並継のこぶ」こと通称「こぶちゃん」と、娘さんで小学5年生の「さきちゃん」をお迎えして開催されました。こぶちゃんは生まれも育ちも地元荒川沿いで、シャキシャキの江戸っ子。さきちゃんはとっても素直で明るい鯉釣り少女。そんな気さくな親子とともに過ごした一日をレポートします。

いつも集合時間がいい加減なMCFオフ会です（笑）。今回は最初に現地入りしたのはぼらひでさんとこぶちゃん。朝6時過ぎにはこぶちゃんの竿をセットし、ぼらひでさんは所用につき竿を出さずに一旦帰宅しました。荒川沿いに住むと、こんなにお気軽に釣り場と自宅を行き来できるんですね。ぼらひでさんが帰宅する直前に、mi○が現地に到着。いつものように竿を二本セットしました。mi○がセットしている間、こぶちゃんはそのようすを観察しています。昨年からはじめたこぶちゃんは研究熱心で、仕掛けやエサ選び、エサの打ち込みなどひとつひとつをじっくり見ているようでした。

今日は潮回りの加減であまり水が動かないようです。風もなく静かな水面と遠くの富士山をながめながら、ふたりで鯉釣り談議に花を咲かせました。

10時半、mi○の竿に待望のアタリが来ました。はじめはさほど手応えもなかったのですが手元に寄せるほどに引きが強くなりました。

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---



こぶちゃんにタモ入れをしてもらった鯉は、黄金色の85cmでした。いきなりこんなきれいな鯉を釣ると、とても嬉しくなります。

やり取りに夢中になっている間に、左たまごさんがそっと到着し

ていました。今回は釣りの参加で、差し入れを持って来ていただきました。そうこうしているうちに、ぼらひでさんとユウ君も到着。次第に賑やかになってきたところで、みんなで記念撮影。



左たまごさんが帰った後、今度はこぶちゃんの奥様がお弁当を届けに来ました。さきちゃんも一緒です。こぶちゃんは荒川で釣りをしていると、いつも奥様がお昼をとどけて来てくれるそうです。こ

んな幸せ者の鯉師は日本全国でこぶちゃんだけかもしれません。さきちゃんもさっそく竿を出して、アタリを楽しみに待ちます。さきちゃんは最近初めて鯉を釣り、それがなんと80cmだったという強運の持ち主です。

さて、アタリの方ですが、こぶちゃんは一度アタリがありましたが、アワセですっぽ抜けになってしまいました。残念！！ さきちゃんも辛抱強くアタリを待ちましたが、今日は残念な結果となってしまいま

## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

した。それでも釣りが大好きなようで、ずっとニコニコしてお父さんと楽しそうに半日を過ごしました。mi○は運よくアタリが続き、2本目以降は70cm、65cm、70cmで、午後4時には5本目の80cmを上げることができました。



ぼらひでさんは3時に待望のアタリ。ユウ君がタモ入れをして、親子で力を合わせて70cmをゲット！その後、さらにアタリがありました。障害物にラインを巻かれ、残念ながら上げることがで

きませんでした。

5時半に一斉に納竿。それぞれが少し日焼けした顔をほころばせながら帰路につきました。こぶちゃんはさっそく次回の釣行プランを練っているようでした。またお会いしましょう。

(レポート：mi○)

第 21 回 2007 年 1 月 20 日 隅田川

参加：左たまごさん、ぼらひでさん、Fさん（ゲスト）、mi○

今年の新春オフ会は、4年ぶりに隅田川で開催することになりました。ぼらひでさんからの情報によると、20日は条件が揃っていて釣果の方も期待が持てます。ゲスト参加者として、Fさんをお迎えしました。Fさんは、実は超有名な鯉師さんです。ご本人の意向により、釣果写真の掲載は控えさせていただきます。Fさんはネットやマスコミには一切顔を出さない方ですが、記念撮影だけはご本人の承諾をいただいてここに掲載させていただきました。



7時半、隅田川にそれぞれ到着しましたが、mi○は場所を間違えて少し上流のポイントに行ってしまいました。「あれ？誰もいない！」

ケータイで連絡をとり、少し遅れて会場に到着しました。すでに他の3人はセッティングが終了。ゴカイ餌の担ぎこみ釣りは、タックル数も少ないため、あっという間に竿出しが終わってしまいます。実にお手軽な鯉釣りです。

mi○が到着するや否や、ぼらひでさんの竿にいきなりヒット！でもぼらひでさんは買い物に行っている最中です。少し躊躇しましたが放っておくわけにもいかないので、左たまごさんがリールを巻いてmi○がタモ入れ。サイズは69cm。これがぼらひでさんの今年の初釣果でした（笑）

ほとんど時間を置かずには今度は左たまごさんにヒット！慎重に取り込んだ鯉は64cmの元気な鯉でした。到着早々、連続ヒットを目の当たりにしたmi○は、急いでセッティング開始します。ゴカイエサは、投入直後のアタリもめずらしくないため、アタリが出始めるとほんの少しの時間も貴重です。

案の定、投入して15分も経たないうちにmi○にヒット！取り込んだ65cmの初鯉を持って記念撮影後、少し距離をあけて竿を出しているFさんを見ると、連続ヒットに走り回っています。さすが地元の川を知りつくした名人です。短い竿を使ってひとりで手際よくタモ入れし、手返しよく次のアタリを待っています。そばで見えて、熟練したひとつひとつの動作がすべて勉強になります。そうこうしているうちに、Fさんに本日4本目のヒット！！竿を深く絞り込んだ鯉は80cmの重量感あふれる見事な鯉でした。時間はまだ9時を少しまわ



## Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

---

ったばかりです。Fさんによると、「今日はいける！」この言葉に、ますます期待が膨らみました。

この直後、またまた左たまごさんの竿が大きくしなります。竿に駆け寄って手にとり、軽くアワセた後しばらくやりとりすると、浮いて来た鯉は丸々太った重量級。無事タモ入れをして測ると80cmジャスト。左たまごさんの嬉しい笑顔が印象的でした。



ここでアタリは一旦なくなり一段落。いつものオフ会では歓談しっぱなしですが、今回はその間も無かったので、ここでやっと落ち着いて話すことができました。今年は暖冬である上に、今日は特に風もなく、釣りをしやすい天候に恵まれました。空は曇っているものの、暖かいコーヒーを湧かして飲むことで十分寒さをしのぐことができます。ぼらひでさんのガスヒーターは、手を洗った後の指先を温めるのに大活躍です。



11時過ぎ、またまたアタリが出始めました。ぼらひでさんに待望のヒット！一本目は自分で上げることができなかったので、これが本当の初鯉になります。上がった来た鯉は、ドイツ鯉のように体

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

高のある丸型の70cmでした。立て続けに左たまごさんに72cm、そしてまたまたぼらひでさんに70cm。合計3本の連続ヒットでお昼を迎えます。

都会での釣りは、近くに何でも買い出しに行ける便利さがあります。ぼらひでさんとmi〇は、歩いてお昼の買い出しに行きました。途中で左たまごさんから、mi〇の竿に当たった鯉を上げてリリースしたとの連絡が入りました。まあ今日はアタリが多いので、また来ると信じて大して気にもせず、鍋ものを買って戻りました。

買い出しから戻った直後、mi〇のドラッグが鳴り響きます。わくわくしながら寄せると、全身がゴールドの奇麗な鯉。左たまごさんにタモ入れして頂いた後、サイズを測ると77cm。久々の黄金鯉に満足しながら記念撮影しました。



鍋ものをつついて温まり、お昼寝タイムの後の2時近く、またアタリが出始めました。左たまごさんに75cm、58cmと続いた後、mi〇に75cm。3本連続ヒットしたところでアタリが止まります。

今日はこんなパターンが多く、当たるときは連続ヒットします。

その後、Fさんを交えて歓談。荒川周辺のお話など伺いながら楽しく時間を過ごしていると、小雨がぼつりぼつりと落ちてきました。時

## Monster Carp Fishing in Japan - Meeting

---

計を見ると3時半。次第に雨脚が強くなる気配を感じたので、本日はこれにてお開き。爆釣に満足しながらの納竿となりました。

結局、左たまごさんは80cmを筆頭に5本、Fさんも80cmを筆頭に、6、7本の釣果（数が多く、数え切れませんでした：笑）。そして、ぼらひでさん3本、mi○が4本。オフ会史上最高の釣果のうちに、再会を誓いあって帰路につきました。

（レポート：mi○）

